

世界ラブスレイヴ トーナメント!

それは一年に一度

世界中のマスター達が
覇を競い合う

少年達の
熾烈な戦いである!

Grand Cup
Fatal Cup
Extrême Cup
Difficult Cup
Gasual Cup
Basic Cup
Amateur Cup

大会はそれぞれ
A杯(カップ)から
G杯(カップ)に分かれ

上位大会ほど
より実力のある
マスター達が
集まってくる

そして――

最上位の
Gカップでの
優勝者には

世界中のマスターの
頂点に立った
栄誉を称え

『グラントマスター』の
称号が与えられる――!



話題沸騰!!!
単行本
第1巻
絶賛発売中
??????

次世代カードゲームバトルホビー

ラブスレイヴ

LUVSLAVE

第12話 「世界大会! いざトーナメント予選会場へ!」



水龍敬
みずりゅう けい

進め優斗!!!
お姉ちゃんを取り戻す為、
世界レベルの激闘の場へ!!!

にしても
なんで

わざわざこんな
遠くの会場まで
来なきゃいけないんだ


もう2時間は
乗ってるぜ

それは……
しょうがないよ

もう近くの会場は
地方予選が終わってて

今からGカップの
地方予選に出られるのは

ここしか
なかったんだ



この列車の
終着駅——

エノシマ・
デイストリクト

予選会場は
あの競技場だよ



はー
すげえな
地下世界とは
思えねえぜ

このあたりは
地上に繋がる
エレベーターも
少ないから
景色が開けて
きれいだね



ほらほら！
座席ここだよ
レオくん！

わかってるよ
メガ姉！

レオ……？

まさか……



あれ……？

ひよつとして
優斗か……!!

レオ君……!!



レオ君
ひさしぶりー！

どうして
ここに!?

ラブスレイヴの
大会だよ！

お前だって
一緒だろ？

キヤッ

キヤッ



知り合いか？

友達の
乾レオ君！

最初にボクに
ラブスレイヴのことを
教えてくれたんだ！

彼女は
薊リオン

通称
「メガ姉」！

昔からよく
ボク達と一緒に
遊んでくれてて……

今は
レオ君のスレイヴに
なったんだ

よろしく

ぽっ



なんで
「メガ姉」なんだ？

あはは……

薊リオン……
ミリオンだから
メガなんだって

ぽっ

ぽっ



あれ……
そういえば

お前の
スレイヴって……

彼女だっけ？



マズいこと
聞いたかな……

もう
レオくん……

デリカシー
なさすぎだよ



……そうか
そんな
ことが……

ごめんな
優斗……

俺がお前を
ラブスレイヴに
誘ったせいで……

ううん……

まさかボクも
こんなことに
なるなんて……



たしかに

世界中のマスターや
サポーターたちの集まる
トーナメント会場で

目当ての選手を
探すのは
至難の業だ

直接試合で
当たった時
くらいしか

選手とマトモに
コンタクトを取るの
は難しいかもな

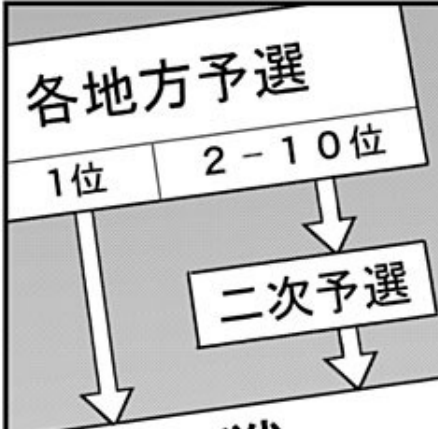


うん

相手はもう
地方予選を
勝ち抜いてる

ボク達も予選を
勝ち抜いて

なんとか
本戦の会場に
行ければ……



……って
ゴメン！
こんな話して……

レオ君たちも
同じ予選に
出るんだよね……

たしかに
予選通過者は
一人だけだから

本線に行くためには
俺とお前で
戦わなきゃいけない

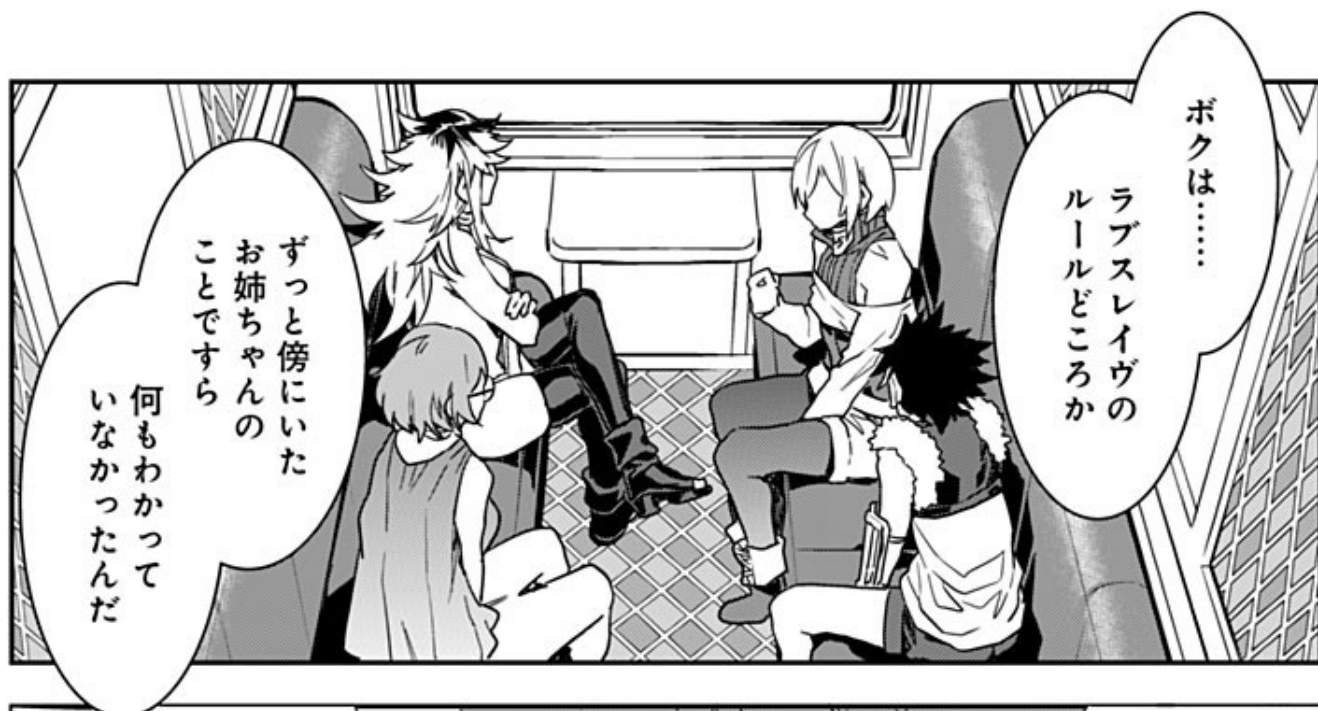
アハハ！
気にすんな

だけど

予選敗退者にも
二次予選はあるから
最悪そっちで勝てば
本戦に出ることは
できるさ







ボクは……

ラブスレイヴの
ルールどころか

ずっと傍にいた
お姉ちゃんのことですら

何もわかって
いなかったんだ



今だって

お姉ちゃんの身に
何が起きたのか

本当はよく
わかってない

これ以上

何もわからない
ままで

放っておくのは
イヤだ



お姉ちゃんのこと……
インバイターのこと……

そして
ダークゼゲンのこと……

全ての謎を解く
手がかりは

トーナメントに
出場している

お姉ちゃんと
咲鬼の弟が
握っている……

そんな気が
するんだ

オレも同感だぜ
優斗

お前の姉と
オレの弟……

ダークゼゲンが
この二人に何か
しやがったのは
間違いない

くそ……

人の家族を
おもちゃに
しやがって……

一体なにが
狙いなんだ……!

……

よし!

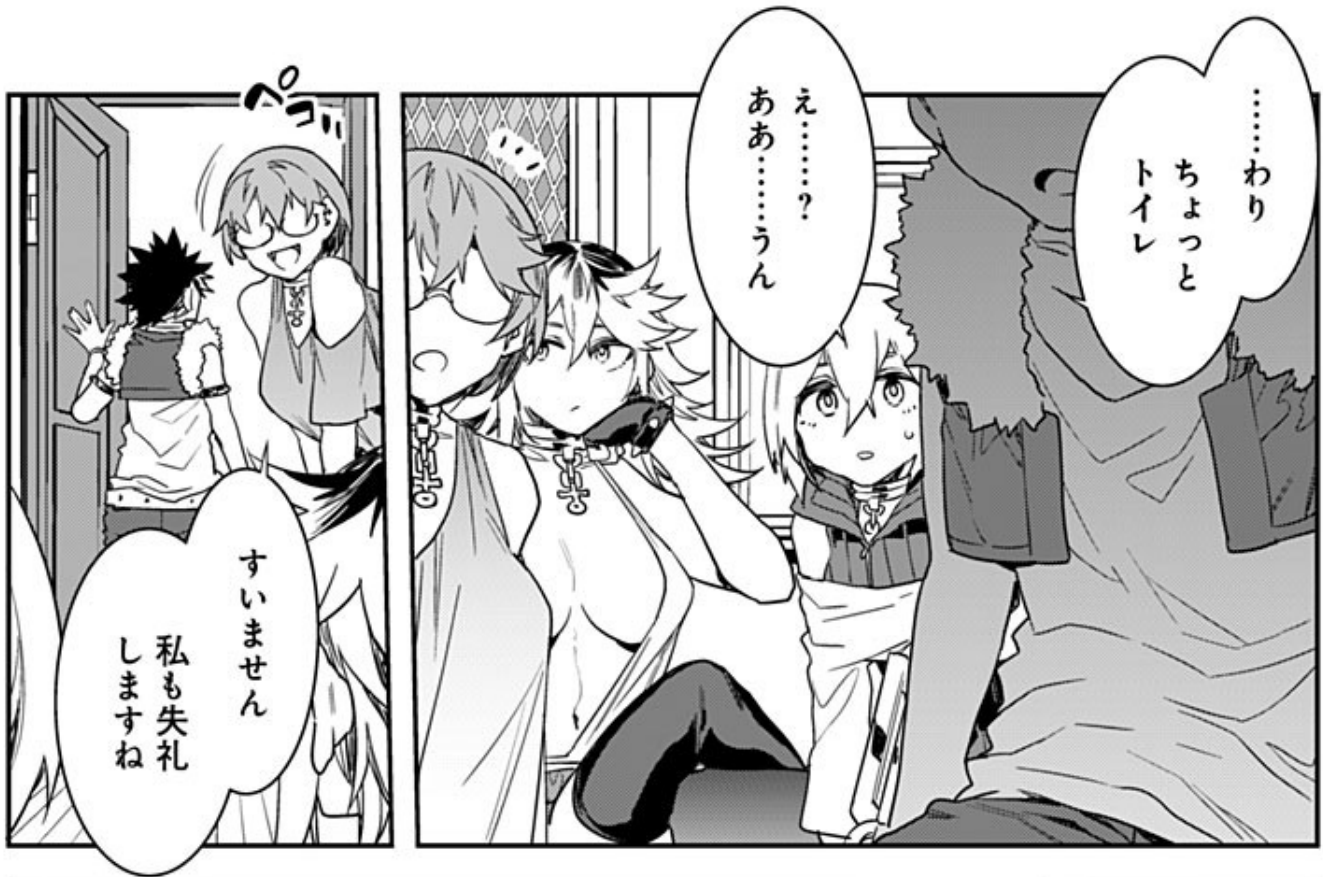
わかった!

俺もお前に
協力するぜ
優斗!

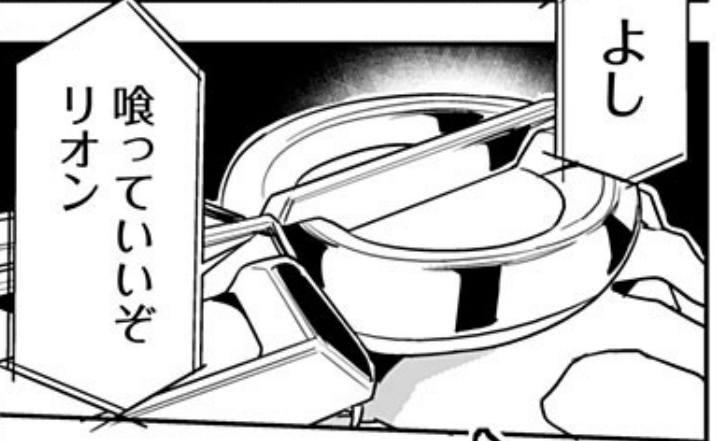
必ずお前を
本戦に
行かせてやる!

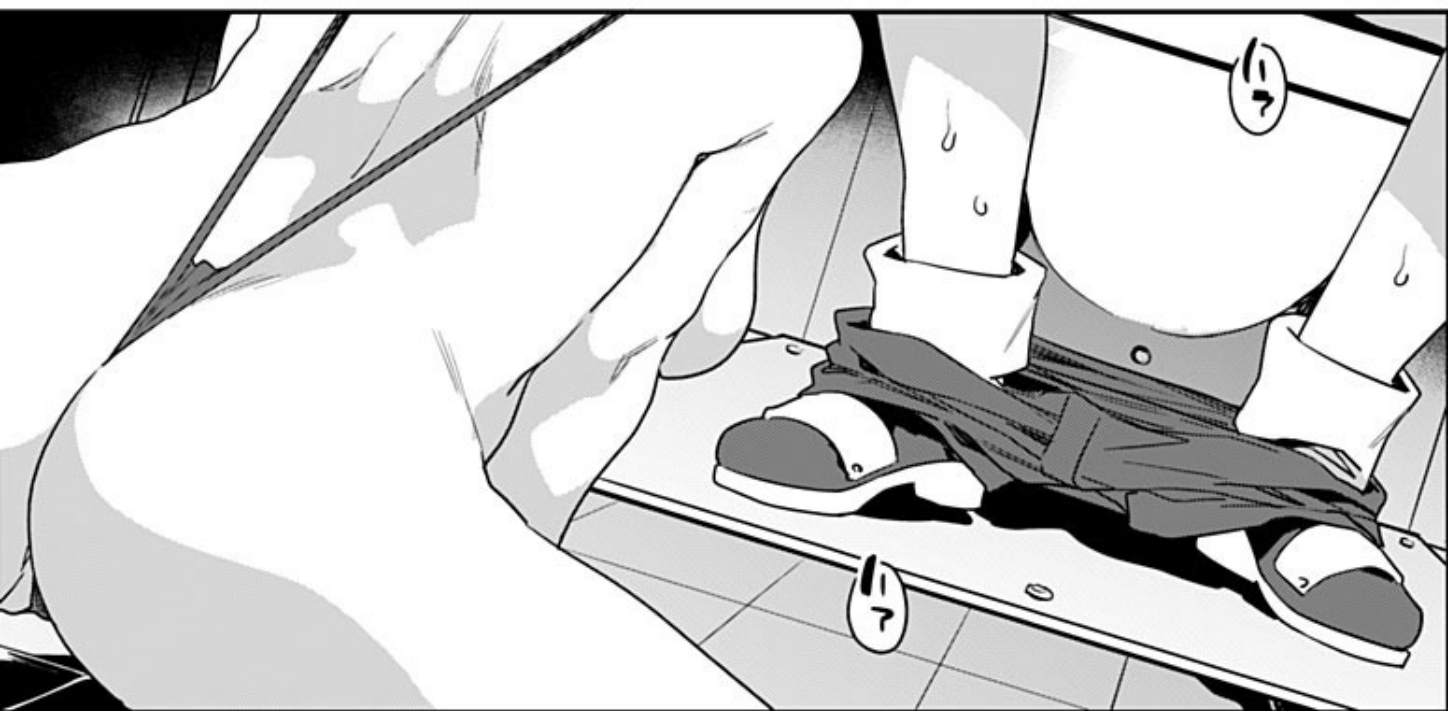
えっ!?











あハ……

きもち……イ

き……もち
イイ……

ダークゼゲン様
最高……オ

ダークゼゲン様
万歳イ……

キョロロ

キョロロ

キョロロ





次！
被験体
ナンバー72と
73を出せ

はい





な...
なんだ

頭が
ぼーっとして...

あ...あ

体が
ひとりで...

ドド...

ギキギキ

ヤア...

もう
おしまいー？

ユナ
つまんない

……一分と
もちません
でしたね

ご覧の通り
インバイターの
前では
通常のマスターでは
正気を保つことさえ
できません

は……あ

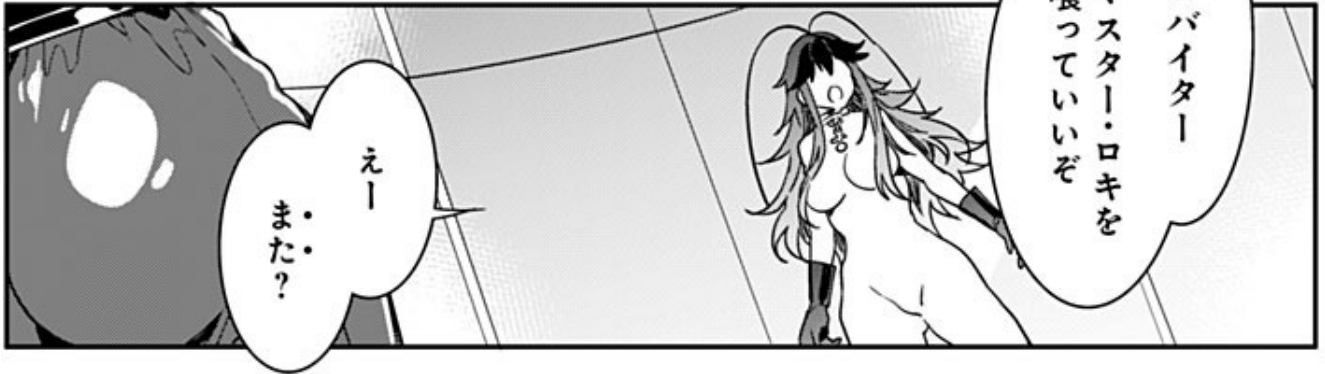
あ……あ

ですが――





インバイター
マスター・ロキを
喰っていいぞ



えー
また?



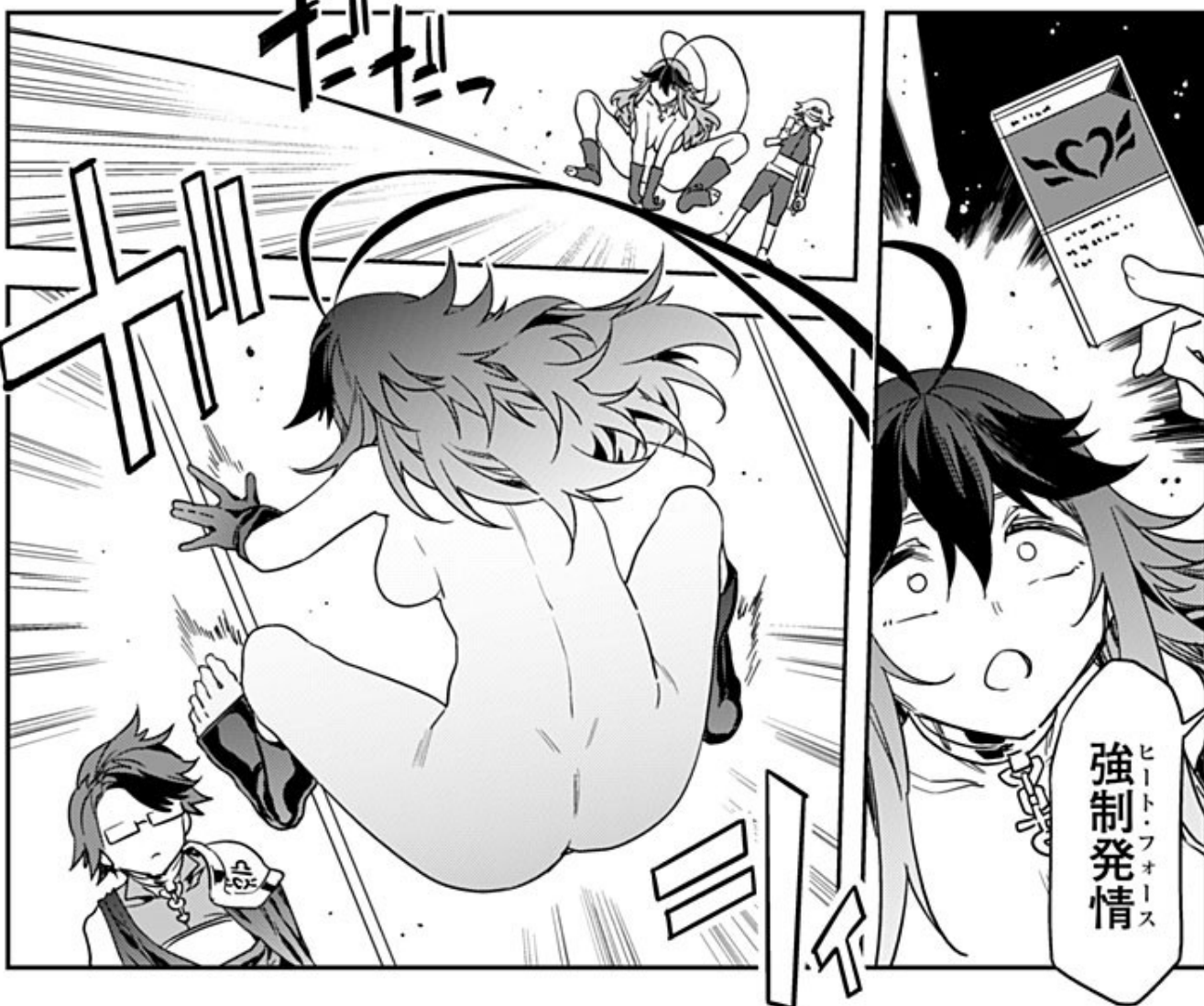
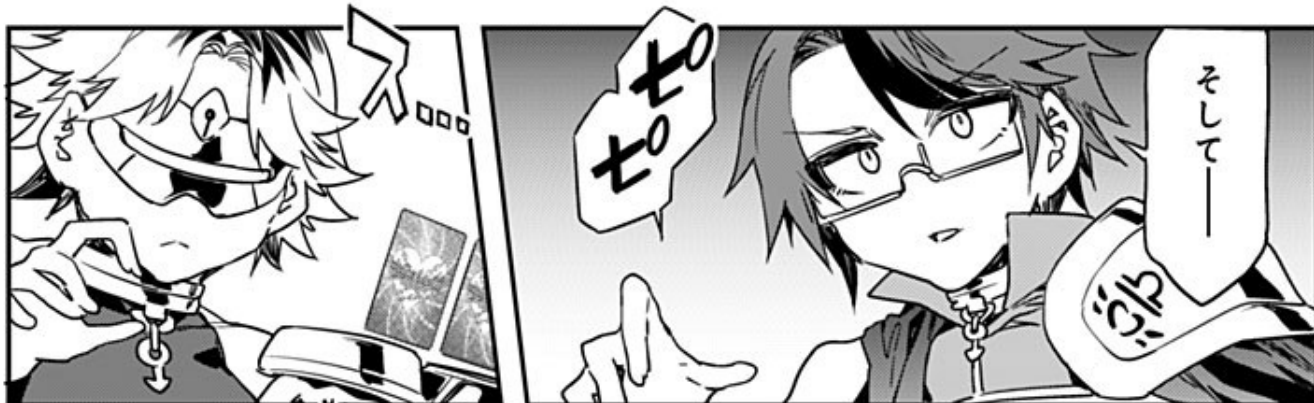
もー
この子は
反応がないから

面白く
ないよー



ニム...







—ふむ
なるほど

まだそんな実験
やってんのか

機織のシヨウタ

……何の用だ



このように

マスターの
頭部のギアに
指令を送ることで

任意の命令を
実行させることが
できます

つまり

遠隔で
マスターを操作
することで

インバイターを
自由に制御
できるのです

獅子舞の
シドー

これは
ソア、アック
恍童十二宮会議で
決まったことだぞ

いつも会議に
顔を出さないお前に
口を挟む資格はない

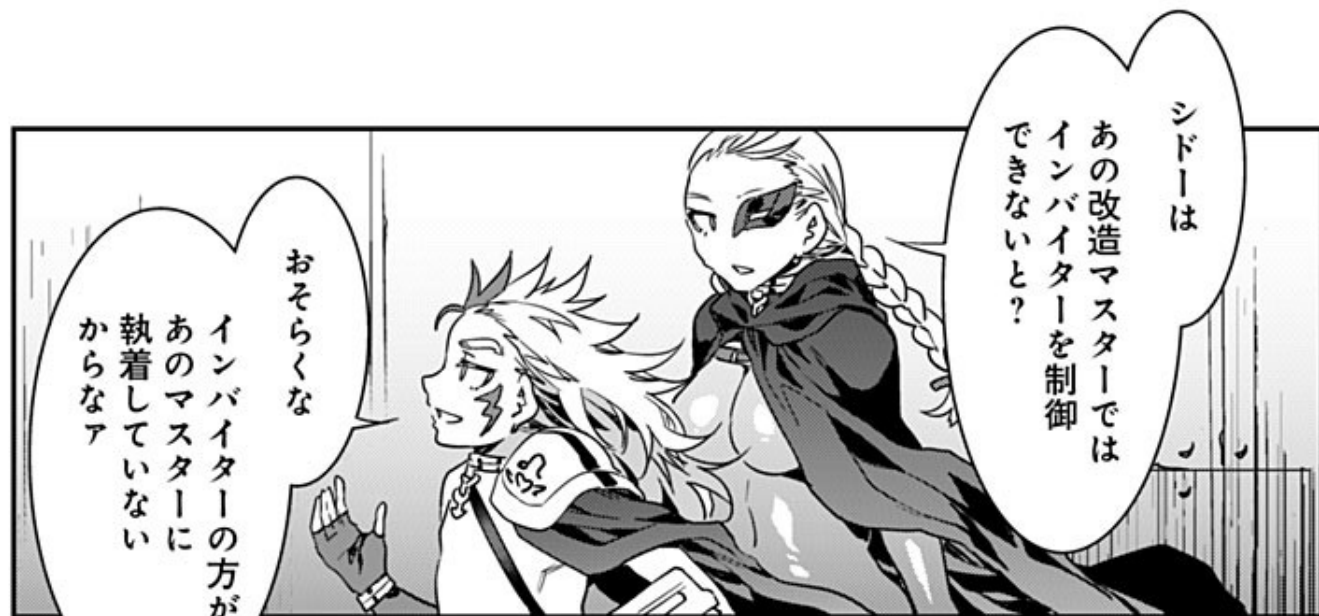
実験の
成果だって
見ただろう
インバイターは
既にコントロール
したも同然……

はいはい
悪かったな
お前さん達は
好きなように
すりゃいいさ

別にイ
そんな人形遊びで
インバイターの力が
制御できるものなのか

様子を見に来た
だけだ

……フン



シドーは
あの改造マスターでは
インバイターを制御
できないと？

おそろくな
インバイターの方が
あのマスターに
執着していない
からなア



マスターと
スレイヴの絆こそ
ラブスレイヴの鍵だ

人形に
スレイヴが操れる
道理があるか



では……
やはり

あア
例のマスターを
捕らえる方が
確実だ

他の
ソディアック
悦童十二宮達は
俺様に切り札が
あることを
知らねエ

マスター優斗を
懐柔するための
手駒がな……

■陰謀過巻く世界ラブスレイヴトーナメント!!! 次回開幕!!!

